

Webライブで全国どこからでも参加できます!

「介護の日本語」教師養成コース

「介護の日本語」教師養成コースでは、介護の日本語教師に必要な知識(理論)と教え方(実践)を学びます。

理論編では介護の日本語を教えるために必要な知識を習得し、実践編では具体的な教え方をグループワークを通し考え、学びます。



大原学園出身 陳 伊萍さん(台湾)

こんな方にオススメ

- 日本語教師としてワンランクアップしたスキルを身につけたい方
- 介護職をめざす留学生に日本語を教えている方

●講義日程・カリキュラム [教室通学(東京水道橋校) / Webライブ(Zoom) 共通]

日程	回	午前:9:50~13:00	回	午後:13:50~17:00
10/2(日)		初日は午後(13:50)からとなります。	①	「介護の日本語」教育の流れと対象者①
10/9(日)	②	「介護の日本語」教育の流れと対象者②	③	専門日本語教育としての「介護の日本語」
10/16(日)	④	介護のことば①	⑤	介護のことば②
10/23(日)	⑥	介護の専門知識①	⑦	介護の専門知識②
10/30(日)	⑧	介護のコミュニケーション①	⑨	介護のコミュニケーション②
11/6(日)	⑩	介護のコミュニケーション③	⑪	日本の生活知識
11/13(日)	⑫	介護福祉士国家試験対策 / コースデザイン	⑬	コースデザイン

● **受講料** **86,500円**
(教材費込) 教室通学 (消費税10%込) Webライブ
※大原グループの講座(通学・通信)に初めてお申込みの方は、受講料の他に入学金6,000円(税込)が必要です。

● **申込期間** **8/1(月)~9/27(火)**

● **対象者** 日本語教師の資格を有する方

● **使用教材** ○大原オリジナルテキスト(全3冊)
 ○『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』
(株式会社スリーエーネットワーク)
 ○『はじめて学ぶ介護の日本語 基本の知識』
(株式会社スリーエーネットワーク)
 ○『はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識とコミュニケーション』
(株式会社スリーエーネットワーク)

受講料に含まれています。



● **定員** 教室通学(東京水道橋校) **12名**
 Webライブ(Zoom) **20名**

・定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。
 ・教室通学の申込人数が3名以下の場合、受講形態をWebライブに変更していただく場合がございます。

● **修了要件** 課題提出(コースデザインの作成・提出)
 他に出席要件有り

■ **Webライブ (Zoom) にお申込みの方へ**
 当講座のWebライブでは、Zoomを使用します。受講で使用する機器で、あらかじめ動作環境・通信環境の確認をお願いします。

※受講には、Webカメラ・マイク・スピーカー(イヤホン)が必要です。
 ※10Mbps(上り/下り)程度の帯域幅があると安心してご受講いただけます。

https://www.o-hara.jp/how_to/zoom



講師アドバイス!

この講座では、まず「介護の日本語」の背景と現状を紹介し、そして、介護福祉士を目指す外国人にとって難解であろう、(1)介護の基本語彙、(2)最低限必要な専門知識、(3)日本の生活知識・コミュニケーションについて、それらをどのように指導するのかを紹介し、実践を通し身につけていただきます。

「介護」という専門分野で活躍する外国人の育成のために、日本語教師の立場から何ができるのか、どのような心構えが必要なのかを考えながら「介護の日本語」教師を目指しましょう。

◆講師プロフィール◆

長年にわたり、日本語教師として活躍。2009年よりEPAで来日した介護福祉士候補生への日本語指導を通じ、「介護の日本語」という専門日本語の必要性を痛感し、以来介護施設と二人三脚で「介護の日本語」のカリキュラム、指導法の確立に深く関わり、常に現場重視の実践的な教授方法を研究してきた。



三橋 麻子講師

丸山 真真子講師

安心のサポート制度

受講生の方が安心して学習できるようにサポートしています。

求人情報&特別講演開催

受講生・修了生には、介護の日本語に関する求人情報やその他色々な情報を提供しています。また、本コースの修了生の中から、「介護の日本語」分野で活躍している方をお招きし、定期的に特別講演を開催しています。実際の現場での貴重な体験談を聞く機会としてご活用ください。

欠席フォロー

どうしても都合がつかずに欠席してしまう時には、講義映像をWebでご視聴することにより補講ができます。
 ※講義映像にはグループワーク中の映像は含まれていません。
 ※事前のお申し出があった方のみとなります。

大原の修了証を発行

本コースを受講され修了と認められた方には、大原の修了証を発行致します。

※修了証の発行には10回以上の出席が必要です。
 ※欠席フォロー(Web視聴)は、4回まで出席とみなします。
 ※講義内で課される課題の提出が必要です。

質問対応

講義後や職員室でご質問いただくことができます。また電話やメールにてご質問いただくことが可能です。
 ※質問対応は講義日程の最終日までとなります。

受講生インタビュー



浅間 聡司さん

介護のいろはから学べました。指導の幅と奥行きが深まりました。PPTを使った講義はわかりやすく、課題の量も働いている人を考慮されたのかなと感じました。1か月が瞬く間で。これから、技能実習生、監理団体、入国後の240時間講習、「介護の日本語」で生かしてみたいです。



権代 喜久子さん

現在仕事にしている日本語教師に、以前働いていた介護職の経験と知識を活かしたいと思い受講しました。養成講座は講師の熱意が感じられ、受講者の皆さまのそれぞれの背景と融合しレベルの高い内容でした。「介護の日本語」の今が分かって有意義な時間を持って大変満足しています。



永井 紀子さん

日本語教師としてスタートしたばかりの私にとっては、この講座で教えていただいた「基本語彙」、「専門知識」、「コミュニケーション」の全てが学びとなる内容で、それを第一線で活躍する先生方に教えていただけるなんて、正にうってつけの講座でした。